

晃の園だより

<http://www.surugakai.net/hikari/>



元気に体操、元気が倍増

どうやら春が通り過ぎ、新芽や新緑は今まさに躍動的な成長を始めました。今年の春は雨が多くおまけに暖かい日と涼しい日が交互に訪れることもあり衣類の選択に困る日も多いですが、それでも天気の良い日にはやはり快適な陽気となることが多いのも事実です。陽射しは暖かく風は心地よく、野山は元気な色に包まれています。体も心も自然にこの快適な季節を喜んでいる、そんな気がします。

写真はあるユニットで毎朝行われている体操の風景です。お馴染みの音楽に合わせて皆さん出来る範囲で元気に体を動かしてください。一年で一番快適な季節を迎え、今日も元気に体操の掛け声が食堂に響きます。

普段の生活の中で

外出でもなく特別なイベントでもない・・・、普段の生活の風景です。こういった普段の生活の中での入居者様の笑顔こそが、とても大事なものに思えます。



天気の悪い日が続けば続くほど、晴れた日には陽射しが嬉しく感じられるもの。気温もちょうどいいこの季節は、建物の外に出て外気に触れるのが本当に心地よく感じられますね。



春は出会いの季節でもあり、また別れの季節でもあります。様々な事情で職場を離れる職員さん、ありがとうございました。そしてこれからも頑張ってください。私たちも頑張ります。



園内のあちこちで飾られる花。その中には職員さんが摘んできた花も多くあります。自宅の庭や近所で旬の季節の花を見つけ、さっと摘んで屋内に飾る。素敵な習慣だと思います。



散歩の最中、会話の中で職員の気のきいた台詞に照れて笑顔になるショートステイの利用者様。普段の生活での職員とのやりとりで出来た信頼関係があってこそその笑顔に見えてなりません。



収穫を目前に控え、新芽の色合いも見事な裏のお茶畑を眺めながら会話が弾むショートステイの利用者様と職員。内容はやっぱりお茶にまつわるお話なのでしょうね。



ユニットでの焼きそば作りを入居者様にも手伝っていただきました…というか、家事ベテランの入居者様が主体となり、職員はそのお手伝いをさせていただいたというのが本当のところのようですね。

ここに掲載した写真や記事は、晃の園ホームページ上の掲示板「旬のネタ」から抜粋したものです。掲示板「旬のネタ」には現場からのニュースが随時掲載されています。ここに掲載しきれなかったニュースや話題もたくさんありますので、ぜひご覧ください。



お問い合わせは

☎ 054-270-1210

FAX 054-270-1253



インターネット ホームページ

「晃の園」で検索

<http://www.surugakai.net/hikari/>

Eメール hikarinosono@surugakai.net



春の屋上散歩



暖かすぎるほどの陽気の五月の日。久しぶりに清響棟屋上へと上がり入居者様と散歩を楽しみました。晩春の景色と空気は本当に心地よく、皆さんもとてもいい表情を見せてくださいました。



屋上の一角にはハナショウブが見ごろを迎えようとしています。屋上なので土の深さは 20cm 程度。水はけが悪くおまけに夏には容赦なく直射日光が照射、冬はカチカチに凍ってしまうという植物にとっては極めて過酷な条件で育っているのはハナショウブをはじめアジサイ、ノイバラ、ギボウシといった日本原産の植物たちです。なんともたくましく、そして美しい姿です。

飛び入りでカラオケ

散歩中にたまたま通りかかった部屋でカラオケをやっていました。



目的地はその先なので本来なら通り過ぎるところですが、楽しい雰囲気に誘われるままに飛び入りでカラオケに参加させていただきました。マイクを握り締め思い出の唄を唄う入居者様。思わぬ場所で思わぬ楽しみを得ることが出来たひと時でした。



身近な桜の名所



晃の園の向かい側にある病院の駐車場には桜の木が沢山あります。その数ざっと24本。樹齢も20年ほどで、皆立派な枝ぶりです。毎年春には桜の花が一斉に咲き誇り、そのボリュームと相まってなかなか見応えのあるお花見場所にもなっています。



車に乗って出かけるようなお花見外出も勿論楽しいものですが、このように身近にあって気軽に散策を楽しめる桜の名所はとても嬉しい存在となっています。

体も楽しむ演奏会

ボランティアの皆さんによる演奏会が行われました。大正琴などの楽器の演奏のほか、唄や体操など



楽しみも満載で、皆さん大いに楽しんでいらっしゃいました。ある入居者様は『私は唄が大好きでねえ』と嬉しそうに唄っていらっしゃいました。

聞いて唄って体を動かして…楽しさ満点の演奏会となりました。今回ご協力いただきました”ひとみ会”の皆さん、本当にありがとうございました。



福祉用具について考える

何のためなのか、誰のためなのか

専門業者による「福祉用具」の勉強会を園内研修として実施しました。「介護の専門家」というと、己の身体ひとつで利用者の求める援助を実施するものと思われがちです。しかし福祉用具は、利用する援助者も援助される側も安心して安全な動作を手助けするものなので、むしろ専門的であるほど積極的に導入するくらいです。



まずは正しい知識から

「スライドボード」「スライディングシート」「移動式リフト」これら三点を実際に職員がスタッフ役と利用者役で使用しながらその使い心地を体験しました。まだ晃の園では導入



していませんが、移動式のリフトの操作方法も、業者の方の指導を仰ぎながら入居者様の協力を得て実際に行わせていただきました。いつもは二人がかりで車椅子からベッドに移動する入居者様は恐怖心から声が出てしまうことが度々ありますが、リフトで実施した際にはホントに静かに安心した様子で援助を受けてくださいました。やっぱり確かな効果があるようです。



研修を受けた職員さんの声



介護って、「人の手」「人の温もり」というイメージがやっぱりあって、なんとなく「福祉用具⇒機械⇒つめたい」という連想が浮かんでしまう方もいるかもしれません。でも単に便利とか楽とかいうだけでなく、適切な用具を使うことで入居者様の現存機能を活かし、自立した生活を送る手助けにもなるんですね。勿論入居者様と職員双方の身体的負担も軽くなるし、スムーズな援助ができれば精神的な負担も減るわけで。その為にもまずは適切な用具を適切に使用する'知識と技術が必要なんですね。専門業者さんのレクチャーを受けながらの体験は、とても勉強になりました。

研修で実際に専門業者の方のレクチャーを受けながら色々な福祉用具を体験しましたが、思った以上に介護する側もされる側も負担が少なくてびっくりしました。(体験する前は正直福祉用具ってどうなんだろうって疑ってました...すみません。)個々の利用者様にあったケアを行っていく中でその方にあった福祉用具を活用していくことも必要なことなのだと改めて感じました。



快適な生活の維持



地上アナログ放送終了への対応としてテレビの入替えを実施。薄型大画面のテレビで映像もくっきり綺麗になりました。



棟棟では屋上の防水処理を更新する工事が段階的に進行中です。定期的な雨漏り対策は欠かせません。



新樹棟では空調設備を一斉に入替える工事を実施。快適さも向上すると共に電気代の節約も見込めます